



東秩父中学校だより

村の宝（子ども）が輝く学校

令和7年9月4日

第 6 号

文責 田端 隆二

なければ つくれ 始業式校長の言葉より一部抜粋

4か月にわたる長い2学期が始まりました。様々な行事が目白押しでとても忙しい学期になると思います。主体的に取り組めれば成功しても失敗してもその収穫は大きく、とても成長できる学期です。しかし、受け身の姿勢での取組では、やらされ感ばかりが残るでしょう。成功してもその喜びは少ないばかりか、失敗すれば原因を他人に求めることになり、不満まで残りかねません。取り組む姿勢によって得られるものは大きく異なります。

今年の2学期は11月8日に50周年記念式典が待っています。一昨年から、保護者の実行委員の方々にご協力をいただき、準備を進めています。

この式典では、記念講演として植松努さんという方の講演を予定しています。この方への他の場所での講演の様子はネット上に動画としてアップされていたので、私はこの夏休みに視聴してみました。

感銘を受けた言葉はたくさんありましたが、私が特に共感したのは「なければ作れ」です。私は以前皆さんに話した「できない理由を探すより、できるための方法を考えよう」とよく似ています。「あれが無いから、これが無いからできません」とあきらめるのは簡単です。しかし、植松さんは知恵と工夫と人脈を駆使し、無いものは作りだし、自分の夢を実現してきました。私はこの講演をとっても楽しみにしています。

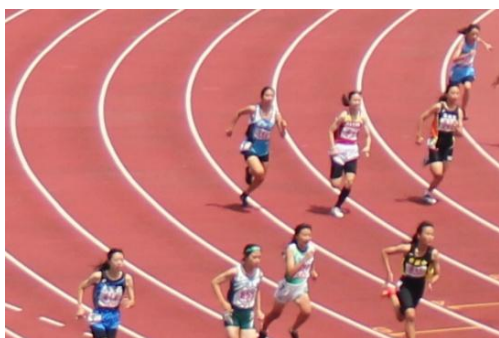
最後に、今学期の皆さんの様々な取り組みが、1学期末に話した「Well-Being」、「4つの幸せの因子」の中の「『やってみよう』という自己実現と成長」、「『ありがとう』という人とのつながりと感謝」をより増やしていけることを願います。

※保護者の方へ 生徒たちにとって家族の温かい支えは自己肯定につながり、主体性を生み出せると思います。応援よろしくお願いします。

陸上比企地区代表 女子200m

～学校総合体育大会陸上県大会～

7月19日（土）に学校総合体育大会（陸上）の県大会が同会場で行われました。女子200mに本校生徒（3年生）が比企地区の代表として出場しました。健闘を称えます。



学校応援団、ありがとうございます

7月の学校だよりで学校応援団員を募集しましたが、現在のところ、

大久根 様、 根岸 様、 大野 様、

野口 様、 関根 様、 鈴木 様 の6名の方にご協力いただけることになりました。

大変ありがたく思います。この場をお借りしましてご紹介させていただきます。なお、人数の制限はありませんので、他にもご協力いただける方がいらっしゃいましたら、いつでもお声掛けください。よろしくお願い致します。

ふれあい奉仕作業

夏休みも終了間際の8月30日、早朝よりPTAのふれあい奉仕作業が行われました。多くの生徒と保護者の皆さん、学校応援団の方にも加わっていただき、除草作業等の環境整備を行っていただきました。また、作業を通して親子の微笑ましい交流もたくさん見られました。おかげさまでとても気持ちよく2学期を迎えることができました。改めて御礼申し上げます。

なお、当日部活動の大会で参加できなかったバレー部のみなさんは、前日の部活動の時間に校内を清掃してくれましたので、ご紹介いたします。



命を預かる職員研修 ～アレルギー対応に関する研修～

2学期を迎える直前の8月27日、私たち職員は春季休業中のAED研修に続き、「たとえ少人数の学校でも、生徒が一人でもいる以上、事故が起こる可能性はゼロではない」との危機意識のもと、命に係わる救急対応訓練としてアレルギー対応＝エピペンの使用法についての職員研修を行いました。

初めは栄養教諭によりエピペンとその使用法に関する説明を行い、その後、「給食後に息苦しさを訴え、教室でぐったりしていた生徒が、次第に喉のかゆみや顔面の発赤・腫れが発症した」という設定で職員が役割分担をし、ロールプレイングを行いました。

